

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	淡路夢舞台国際会議場	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(株)夢舞台	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	安全で快適な利用を確保するため、日常清掃及び定期清掃を行う	通常のコleaning業務に加えて、引き続き新型コロナウイルス感染対策のため、会議室の机・椅子、共有スペースの除菌を行った。	◎	◎
	設備保守管理	施設を安全かつ安心して利用できるよう、予防保全に努め、建築物や設備等の不具合を発見した際には、速やかに県に報告を行う	定期保守点検等により施設の予防保全に努めるとともに、建築物や設備等の不具合がないかを日々の業務において確認した。	◎	◎
	植栽管理	敷地内の除草・剪定、樹木管理等を行い、美観を保つ	定期的な植栽管理の実施により、自然豊かなリゾート地にふさわしい、美観を維持した。	◎	◎
	警備	事故、盗難等の発生を警戒・防止するとともに、利用者の安全を守るための保安警備業務を適切に行う	24時間常駐警備員によるモニター及び巡回による監視を行い、利用者の安心安全の確保に努めた。	◎	◎
	小規模修繕	施設利用者が快適に利用できるよう、日常の保守点検に基づき実施する	施設の管理・運営上、支障となる箇所は迅速に修理・補修等を行うとともに、機械の経年劣化等については、計画的な修繕を実施した。	◎	◎
	法定点検の実施	法定点検の実施	各種法令により義務付けられた点検を適正に実施した。	◎	◎
運 営 業 務	開館日・開館時間等	休館日(12月29日から1月3日まで)を除く、9時から21時まで	会議スケジュールに合わせた早朝・夜間の利用にも柔軟に対応し、利便性の向上による利用促進を図った。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	利便性の向上	ホームページで利用者に必要な情報をわかりやすく提供した。また、利用申請に係る押印不要やオンライン化により、利用者の負担軽減を図った。	◎	◎

	各種事業・プログラムの実施状況	利用促進、施設広報の実施	「MICE EXPO in 関西」に出店し、会議環境（空調・通信・オンライン機材）の充実を広報するなど、大阪・関西万博に向けて新規会議主催者への誘致活動を行った。	◎	◎																																			
	利用者満足度調査結果（アンケート調査）	利用者に対して、施設・備品・運営に関する要望等のヒアリング並びにアンケートを実施	施設利用後のフォローを実施し、継続利用の依頼に努めた。またアンケートの結果も、高い満足度を示す結果となった。収集した情報を課内で共有し、問題点は改善に努めるなど、日々、顧客満足度の向上に努めた。	◎	◎																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答数 116</th> <th>清掃</th> <th>施設</th> <th>備品</th> <th>料金</th> <th>職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に満足</td> <td>89.7%</td> <td>77.6%</td> <td>64.7%</td> <td>47.4%</td> <td>90.5%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>10.3%</td> <td>21.6%</td> <td>30.2%</td> <td>31.9%</td> <td>9.5%</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>0.0%</td> <td>0.9%</td> <td>3.4%</td> <td>20.7%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>1.7%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>非常に不満</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	回答数 116	清掃	施設	備品	料金	職員	非常に満足	89.7%	77.6%	64.7%	47.4%	90.5%	満足	10.3%	21.6%	30.2%	31.9%	9.5%	普通	0.0%	0.9%	3.4%	20.7%	0.0%	不満	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	非常に不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
回答数 116	清掃	施設	備品	料金	職員																																			
非常に満足	89.7%	77.6%	64.7%	47.4%	90.5%																																			
満足	10.3%	21.6%	30.2%	31.9%	9.5%																																			
普通	0.0%	0.9%	3.4%	20.7%	0.0%																																			
不満	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%																																			
非常に不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																			
利用状況	利用者数（実数）	国際会議 16 件、4,000 人 国内会議 334 件、21,000 人 合計 350 件、25,000 人 [昨年度：263 件、24,687 人] 【参考（コロナ前）】 [H30 年度：385 件、25,025 人]	国際会議 16 件、1,874 人 国内会議 331 件、15,471 人 合計 347 件、17,345 人 利用者については、コロナの影響が残るも、過去利用先への継続した誘致活動等により、会議件数をコロナ前の 9 割に回復させた。	○	○																																			
	施設稼働率	メインホール稼働率 30% [前年度：12.9%] 【参考（コロナ前）】 [H30 年度：27.2%]	メインホール稼働率 22.4%。 開催規模の縮小等コロナの影響が残るも、国際会議、企業研修の誘致により、稼働率は前年年度より改善した。	△	△																																			
収支状況	収支計画と実績	収支計画と実績の比較 収入予算：210,296 千円 支出予算：210,296 千円	収入実績：211,862 千円（対予算 1,566 千円） 支出実績：211,862 千円（対予算 1,566 千円） 利用促進により収入増に努めた。	○	○																																			

	経費節減に向けた取組	職員のコスト意識のもと、省エネ対策等の経費節減に努める	利用者へ配慮しつつ、共用スペースの照明区分の細分化、こまめな点消灯、春秋期の空調機の停止などにより、光熱費の削減に努めた。	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	各種トラブル、苦情には迅速に対応し、利用者の要望には適切に管理運営に反映させるよう努める	誘致担当、会議支援担当が連携・協力し、利用者の苦情要望等について情報の共有や協議等の対応を迅速に行い、運営体制の向上に努めた。	◎	◎
	危機管理体制の確保	予防対策として、危機管理体制を構築するとともに、災害時の対応について訓練を行う	夢舞台施設全体の統括防火防災管理体制のもと、国際会議場地区隊を組織し、防災委員会による協議他、各種訓練を実施した。	◎	◎
	県・関係機関との連携	県、関係機関と適宜連絡調整を行い、円滑な運営を図る	必要に応じ、適時適切に連絡調整を行い、円滑な運営に努めた。	◎	◎
	業務の再委託の状況	業務の再委託の状況	設備維持管理に必要な定期保守点検、清掃、警備、植栽管理等については、再委託を実施した。	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

新型コロナによる影響が依然として続く中、当会議場は感染症対策を徹底しつつ、対面とオンラインを併用した会議を中心に、施設面や運営面での以下の取り組みにより目標を上回る収入を確保した。

【施設面】
日々の適切な維持管理・設備改善を行い、感染防止対策を徹底し、安心安全な施設管理を実現した。

【運営面】
高性能空調システムや映像・音響機器の更新、オンライン会議用備品、ハイブリッド会議プラン（対面+オンライン）、高速インターネット環境の整備などコロナ対策を含む多様なニーズに対応できる充実した会議環境や、顧客需要に応える会議サポートサービスの提供により、世界的研究機関主催の国際会議（年5回開催）や、企業の研修利用、大学等の医科系学会などの案件を誘致することができた。今後も、当会議場の強みを活かし、顧客ごとのニーズにマッチした最適な提案・サービスを提供し、大阪・関西万博を契機とした国際会議や、大型会議、MICE 案件の誘致に努め利用拡大と収益の安定化を図る。

令和4年度 総合評価シート

評価者：企業庁総務課

施設名	淡路夢舞台国際会議場	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(株)夢舞台	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- 会議の小規模化や、定例利用がコロナの不安感から開催中止となるなど影響は残ったが、過去利用先への継続した需要発掘活動や、展覧会への出展等により会議件数はコロナ前（平成30年度）の9割程度まで回復させるなど、誘致活動は高く評価できる。
- ハイブリッド会議（対面+オンライン）の普及などにより以前より顧客需要は多様化しているが、職員のきめ細やかなサービスの提供により、利用者満足度は高い。株式会社夢舞台が持つ他施設との一元運営体制と蓄積されたノウハウにより、効率的で質の高い管理運営が実施されている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- コロナの行動制限等の緩和により、会議の復活や規模の増大など社会活動が動き出していることから、誘致活動の継続により更なる利用者数の確保・メインホール稼働率改善に努められたい。
- 大阪・関西万博を踏まえ、ホテル等夢舞台他施設と連携し、島内エクスカッションなどリゾート立地の特性を生かしたMICE案件、国際会議、大規模会議の誘致に努められたい。
- 引き続き、感染症対策を徹底するとともに、安心・安全かつ快適な施設の提供と利用者サービス向上に努められたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	A			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である